

**KDDI株式会社及び
沖縄セルラー電話株式会社
から提出された
四半期報告の概要及び確認の結果**

**令和4年度第3四半期
(令和4年10月～令和4年12月)**

この資料は、2.3GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための特定基地局の開設に関する指針（以下「開設指針」という。）に基づき、KDDI株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社から提出された四半期報告（※）の概要を確認の結果とともに公表するものである。

※2.3GHz帯における第5世代移動通信システムの普及のための特定基地局の開設計画（2.3GHz帯（2,330MHzを超え2,370MHz以下）の周波数を使用する特定基地局の開設に関する計画（以下「開設計画」という。））に関する四半期報告。

<報告概要>

1 サービスの状況

特定基地局によるサービスについては、令和6年10月頃の開始を予定しているため、今四半期では開始に至っていない。

2 特定基地局の整備計画

<特定基地局の開設数>

	今四半期の実績値	計画値（令和4年度末）
5G特定基地局の開設数	0局	0局
条件不利地域における特定基地局の開設数	0局	0局
SA方式5G特定基地局の開設数の割合	0%	0%

3 技術的な検討、実験、標準化の活動

電波を停波することなく、帯域幅を切替えることができる技術の開発及び導入について、令和8年度までの開発・導入を計画しており、ベンダとの協議を実施している。

また、新たな技術を導入した場合は、令和8年度までに国際標準化提案を実施する予定。

4 安全・信頼性を確保するための対策

人為ミスの防止対策、設備容量の確保対策、ソフトウェアバグの防止対策、障害時の組織・拠点等の体制確保、対応の方法等の取組、災害時及び事故発生時における設備障害・通信輻輳に対する防止・最小化の取組、調達予定の電気通信設備についての確認・検証とリスクアセスメント等の取組並びに機器調達後のサイバーセキュリティ確保のための具体的な取組等について、開設計画どおり実施されている。

5 混信等の防止に関する事項

<2,300MHzを超え2,400MHz以下の周波数を使用する公共業務用無線局>

公共業務用無線局の免許人との事業者間合意や特定基地局の諸元共有、特定基地局の停波や運用帯域幅変更等を実施することにより混信等の防止対策を実施予定。

<2,330MHzを超え2,370MHz以下の周波数を使用する放送事業用無線局>

ダイナミック周波数共用管理システムを利用し、周波数を空間的・時間的にダイナミックに共用することによって混信等の防止対策を実施予定。

<放送事業用無線局及び公共業務用無線局とのダイナミック周波数共用に係る停波実績>

全国	延べ停波局数（局）	延べ停波時間（hh:mm）
	0	00:00

6 O-RAN アライアンスが定めるインターフェース仕様等、マルチベンダーによる

相互接続性・相互運用性が確保される規格に基づく通信機器の採用等に向けた取組に関する計画

- ・ 0-RAN アライアンスにおいて、SLA 保証型サービスの実現に向けた RAN 制御の仕組み及びスライスを管理・制御するための機能などの議論に参加。スライスごとに異なるベンダの 0-CU/0-DU 装置の導入を可能とする仕組みについて提案。
- ・ 0-RAN アライアンスのボードメンバ（令和4年10月再選）及び WG2 共同議長（令和3年6月より）を務めている。

7 その他

特記事項はない。

<確認結果>

開設指針及び開設計画に基づき適切に実施されていることを確認した。